

私の留学体験記

広島県立西条農業高等学校 2年 早志 美空 (はやし みそら)

留学期間 平成29年10月19日～平成29年11月1日(2週間)

留学先 シカゴ農業高校, イリノイ州立大学(アメリカ合衆国(シカゴ市, ノーマル市))

今回、私たち広島県立西条農業高等学校の生徒6名は、2名の先生に引率して頂きながら無事に、約2週間のSSH米国海外研修を成功させることができました。

1週間目のシカゴ市では初めての海外ということもあり、とても緊張しました。ウェルカムパーティーでホストファミリーと対面した際にも緊張のあまり何を話したらよいかかわからず、ホストファミリーの Jenna が話しかけて

てくれても、海外ならではのスピードと発音の英語をあまり聞き取ることができませんでした。しかし、研修日数が増えていくうちにリスニング能力が向上したのか、最初に比べるとかなり英語の内容も理解できるようになり、スムーズに会話をする



ことができるようになりました。シカゴ農業高校では Jenna とともに学校に通いながら、研究発表を生徒の前で2度行いました。やはり1回目よりも2度目のほうが上手にプレゼンテーションを行うことができました。初めは不安でいっぱいでしたが、生徒の皆さんも意欲的にこちらに耳を傾けてくださったのがとても嬉しくて、何度も練習を重ねて発表をした甲斐があったと感じました。

休日にはホストファミリーと、親戚20名ほどでお化け屋敷に行きました。アメリカのお化け屋敷はとても規模が大きくて、とても怖かったです。ハロウィンの時期が近いということもあり多くのお客さんが来場していました。

日曜日には他の西農生徒と、そのホストファミリーとともにシカゴの街に行きました。クラウドゲートと言う巨大アート作品や、商業、金融、流通の街である高層ビルの立ち並ぶシカゴの街並みを見ながら散策し、ショッピングもしました。シカゴ名物の分厚いシカゴピザやギャロットポップコーンも食べることができ、彼らとも交流を深めることができました。別れが近づくにつれて、悲しみも増して涙が込み上げて泣いてしまうことも多くあり、日本に帰りたくないということもありました。

2週間目のノーマル市でもイリノイ州立大学のライカード教授をはじめとする多くの先生方の配慮により、大変刺激的な毎日を過ごすことができました。また、ティラノサウルスの化石のある



ことで世界的に大変有名なフィールド博物館にも行きました。

今回の研修はたくさんの方々の協力のもと無事成功し、私の人生において大変有意義な時間となりました。多くの素敵な思い出と、日本ですることのできない貴重な体験を高校時代に自分自身がすることが出来たことに感謝し、今後の人生に役立てていきます。